

# 省エネのための16の助言

- .03 **INTRO**
- .05 **断熱ボイラーを備えたマシンを使用する**
- .06 **温度安定性に留意する**
- .07 **ADVANCED BOILER MANAGEMENT (ABM) システムを使用する**
- .08 **適切な稼働時間設定をする**
- .10 **非稼働グループをオフにする**
- .12 **熱湯の使用を最適化する**
- .14 **無駄のないフラッシュ**
- .16 **ECO MODEを起動する**
- .18 **自動ワンドを使う**
- .20 **調節可能カップウォーマーを採用する**
- .22 **IOTマシンを選ぶ**
- .24 **ベストプラクティス**



## テクノロジーとベストプラクティスで手軽に省エネを

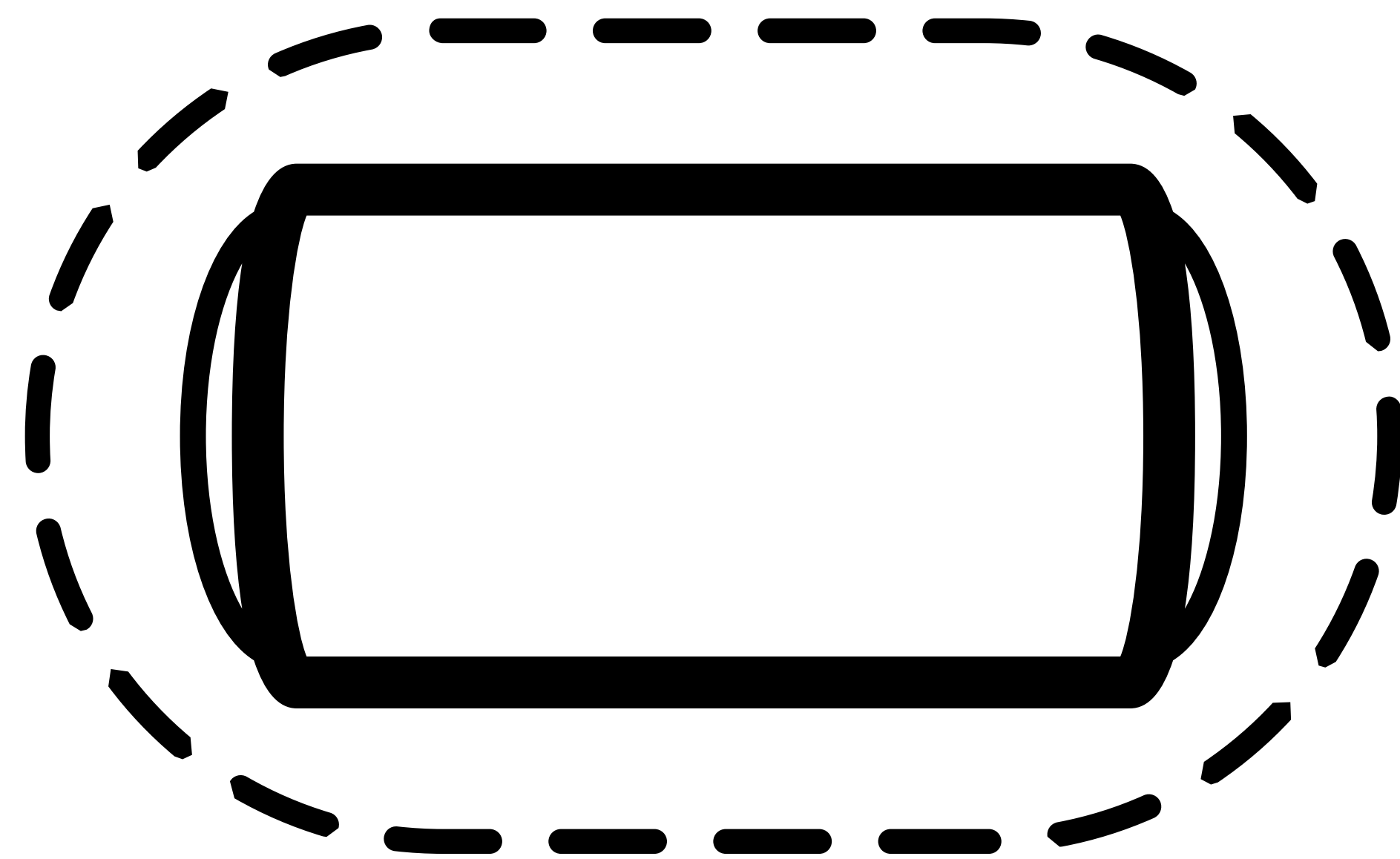
近年、電気代やガス代の予想外の高騰のみならず、特に、環境に対する関心の高まりから、業界関係者も企業も、エネルギー消費量を見直し、そのためのテクノロジーを選択し利用する方法を再評価するようになりました。

そこで、持続可能性に配慮した最先端の製品や特許技術の開発に常に取り組んできたランチリオ・グループは、ビジネスにおける日々のエネルギー消費量を減らし、エネルギー効率を向上させるための、バリスタに役立つ助言やグッドプラクティスをまとめた、簡単なリストを作成いたしました。

# 実践的アドバイス

# 1

## 断熱ボイラーを備えたマシンを使用する



断熱ボイラーを備えたコーヒーマシンを使用することは大切です。実際、ボイラー周りを断熱することで、意図しない熱損失を防ぎ、エネルギーを節約することができます。このテクノロジーを採用したランチリオマシンでは、断熱と保護に特に適した複素環式化合物ベースの被覆材によって断熱が保証されています。

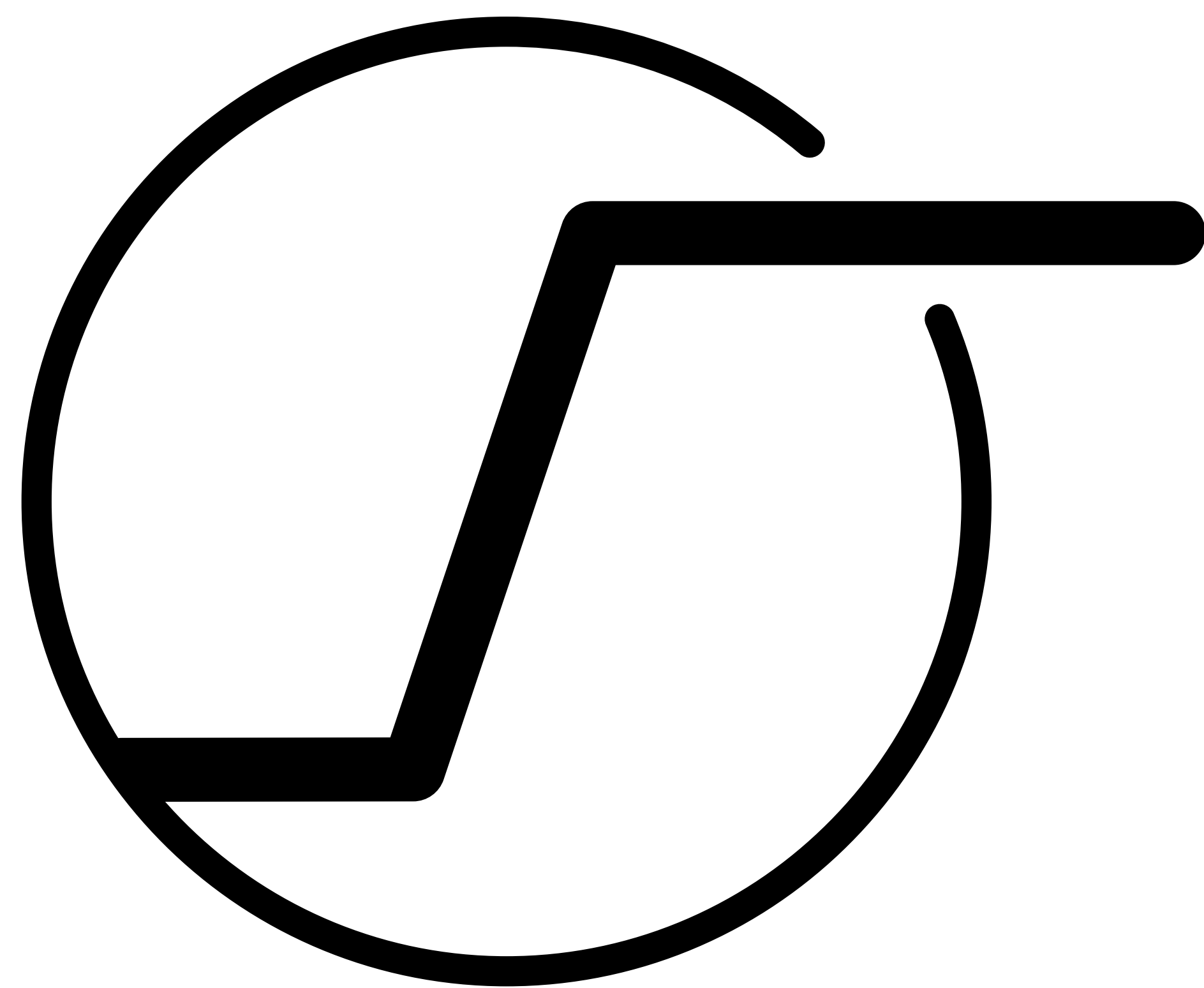
この仕様は、断熱蒸気ボイラー、スマートエネルギー管理、低エネルギーモードを備えたランチリオのClasse 20モデルと、プログラム可能な水交換機能とEco Modeを備えた断熱ボイラー搭載のランチリオスペシャリティのRS1モデルに適用されています。

本テクノロジー搭載モデル：

RS1、Invicta、Classe 11 USB Xcelsius、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、Classe 9 USB、Classe 9 S、Classe 9 RE、Classe 7 USB、Classe 7 S、Classe 5 Eco USB、Classe 5 Eco S

# 2

## 温度安定性に留意する



一日の中で、高稼働時間帯と、休憩時間や低稼働時間帯が交互に繰り返されると、コーヒーマシンのパフォーマンスに大きな影響を与えかねません。一定時間稼働が停止した後にボイラーを最適温度に戻すには、急激かつ高容量のエネルギーを要します。

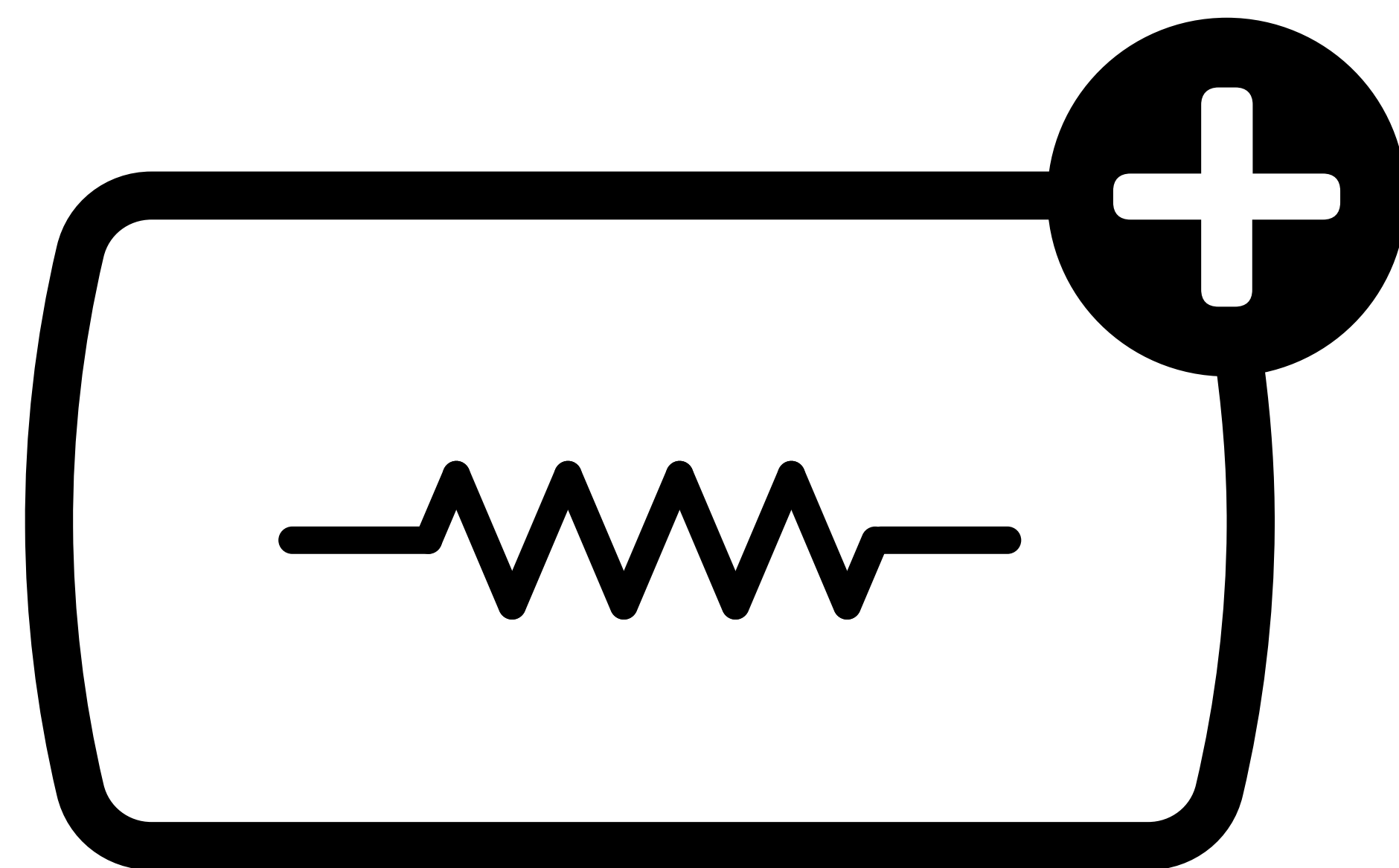
この問題を回避するため、ランチリオのシングルボイラーコーヒーマシンには、Steady Brewシステムを、最上位機種から新製品のClasse 7やClasse 5に至るまで搭載しています。ランチリオ・グループが特許を取得しているこのソリューションは、ピーク稼働時にも、低稼働時にも、優れた温度安定性を保証します。さらに、エネルギーの無駄を最小限に抑え、スチーム性能を制限することなく、ボイラーを1バールに維持しながら、異なるコーヒー温度を設定することができます。

Steady Brew搭載モデル：

Classe 11 USB、Classe 20、Classe 9 USB、Classe 9 S、Classe 7 USB、Classe 7 S、Classe 5 USB、Classe 5 S、Classe 5 Eco USB、Classe 5 Eco S、Invicta

# 3

## ADVANCED BOILER MANAGEMENT (ABM) システムを使用する



Classe 11やClasse 20などのランチリオの最上位機種には、ピーク稼働時のマシンのパフォーマンスを向上させ、安定した温度を常に確保するために開発されたABMシステムが採用されています。

水と蒸気を出しながらエスプレッソを抽出する際、圧力が設定限度以下に下がる前に、ABMがヒーターエレメントを作動させ、コーヒー抽出中の安定した加熱を保証します。

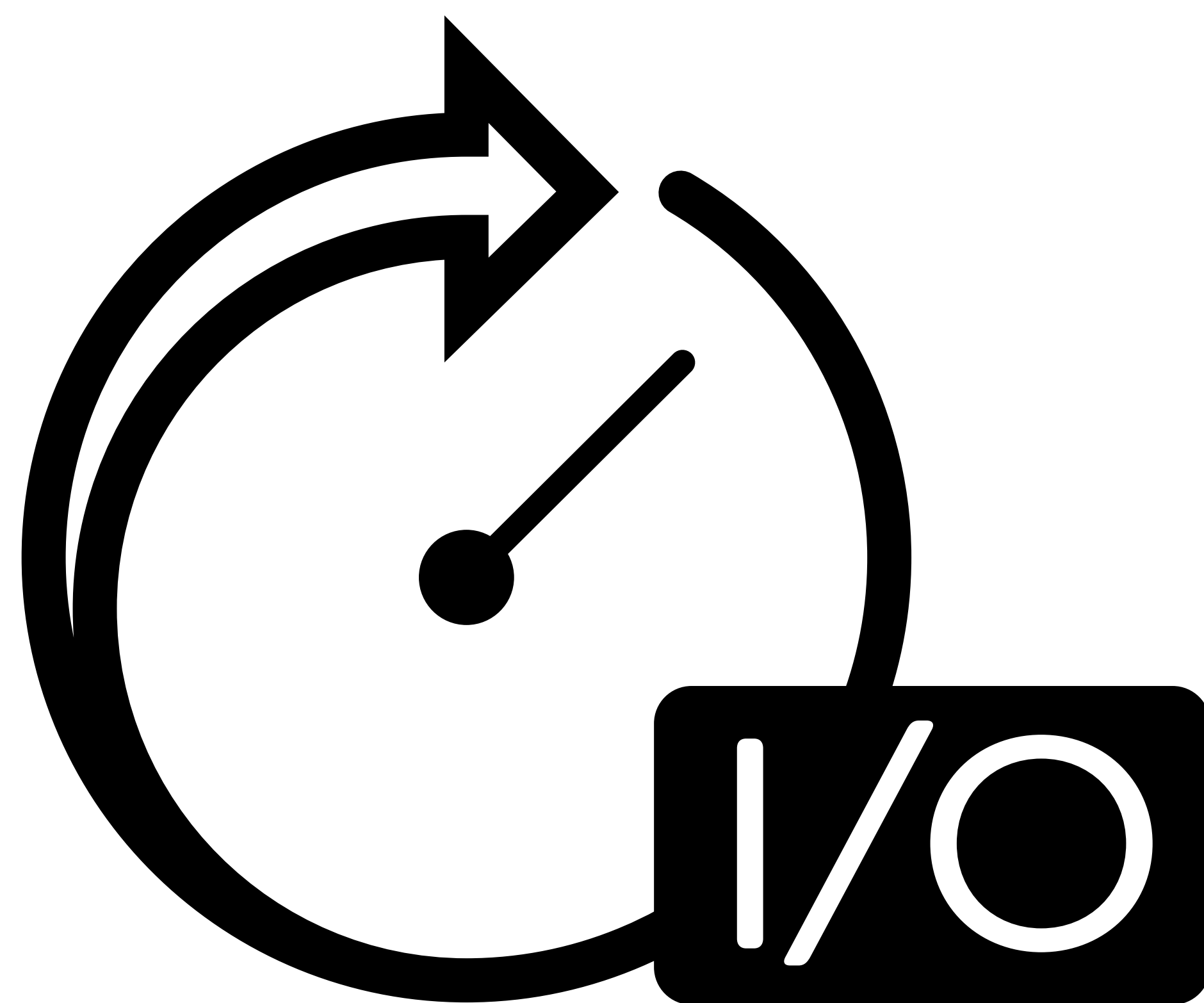
ABMは、マシンの消費電力を管理し、最適温度に再度戻すために必要となる、急激かつ高容量のエネルギー消費を避けることができます

本テクノロジー搭載モデル：

Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、  
Classe 9 USB、RS1、Invicta

# 4

## 適切な稼働時間設定をする



マシンのオン／オフ自動切替の時間設定を可能にする機能は、その内容を良く知る必要があります。というのも、マシンが何時間停止しているかによっては、この機能によってエネルギー消費量を削減するのではなく、むしろ増加させてしまうケースもあるからです。

しかし、少なくとも4時間のダウンタイムがある店舗、つまりコーヒーを提供する大多数の店舗では、稼働時間を調整できるコーヒーマーカーを導入することで、純然たる節約が可能になります。

ランチリオのClasse 11とClasse 20では、マシンが自動的にオン／オフする時間を設定でき、Classe 9とClasse 7では、バリスタが曜日ごとにマシンのオン時間と稼働時間を設定することが可能です。

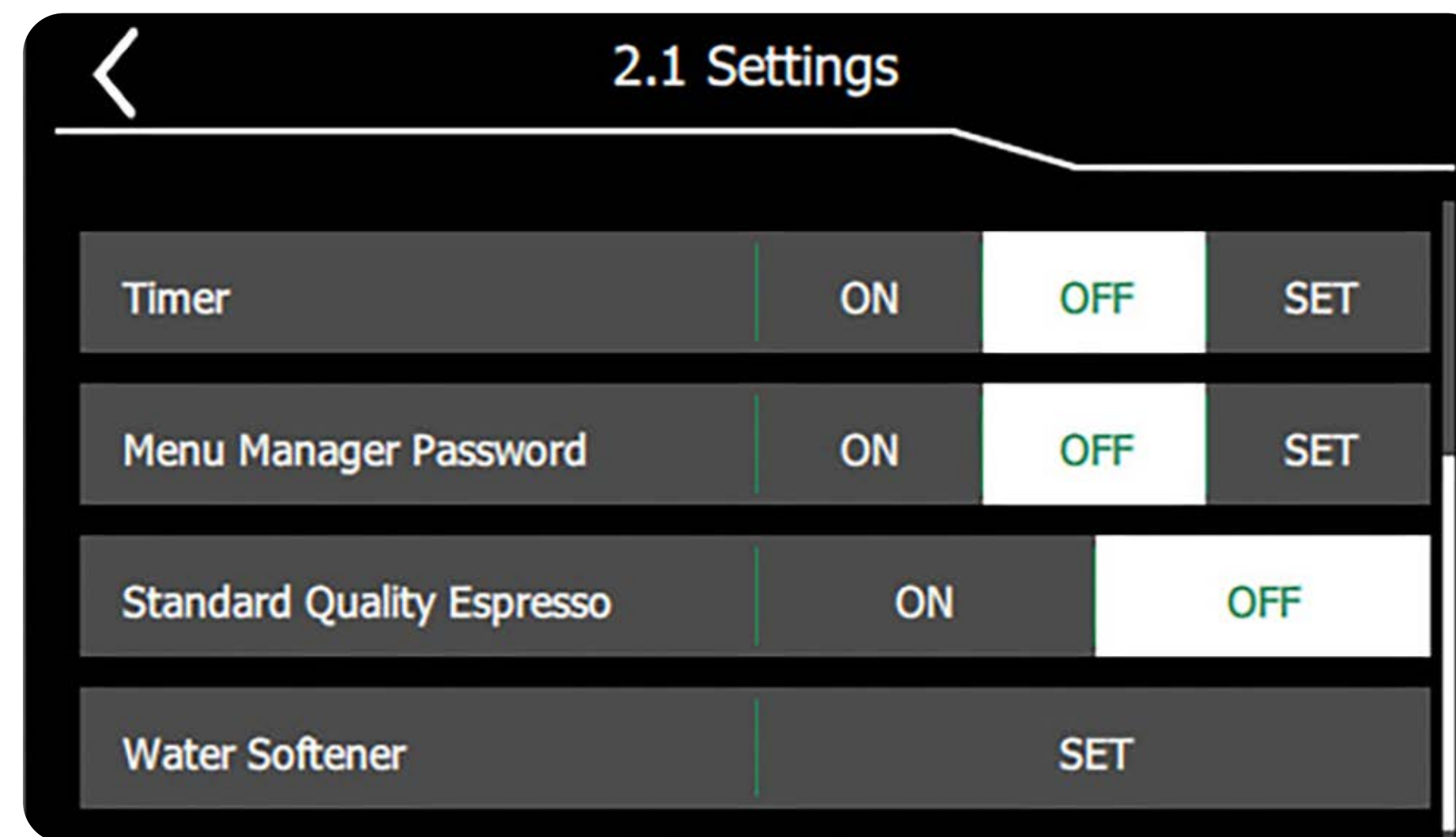
本テクノロジー搭載モデル：

Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、Classe 9 USB、Classe 7 USB、RS1、Invicta

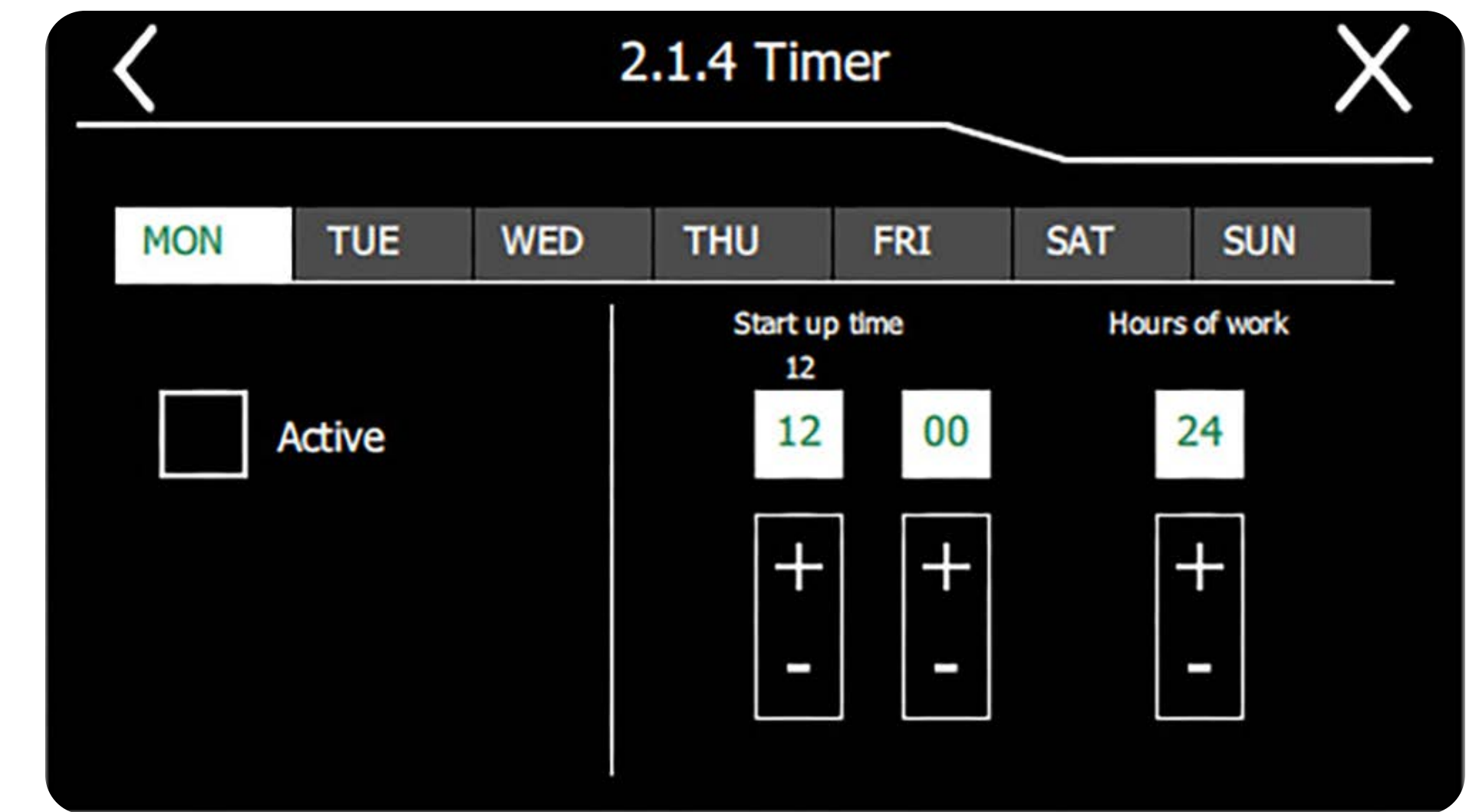


# .4

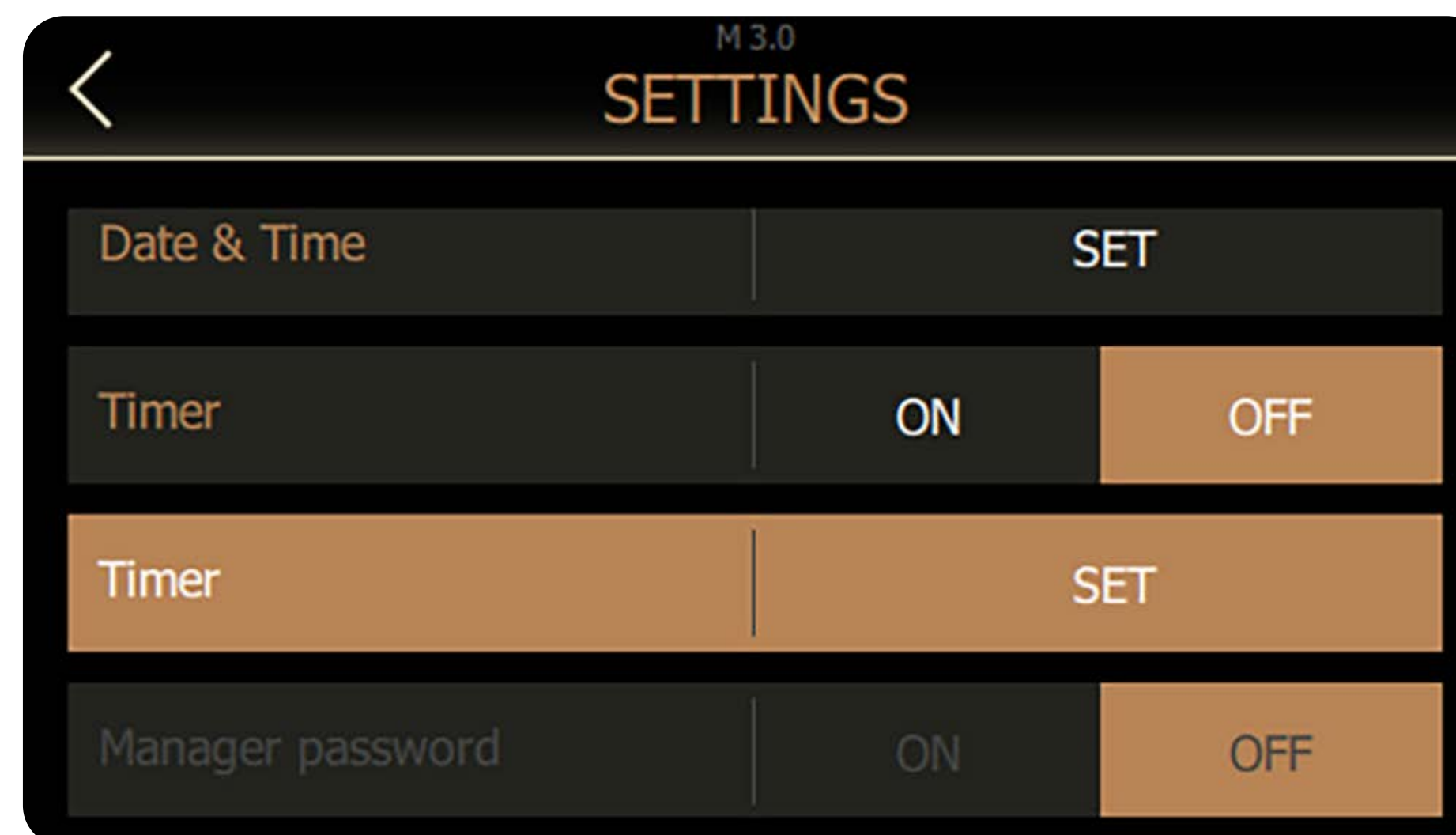
## 適切な稼働時間設定をする



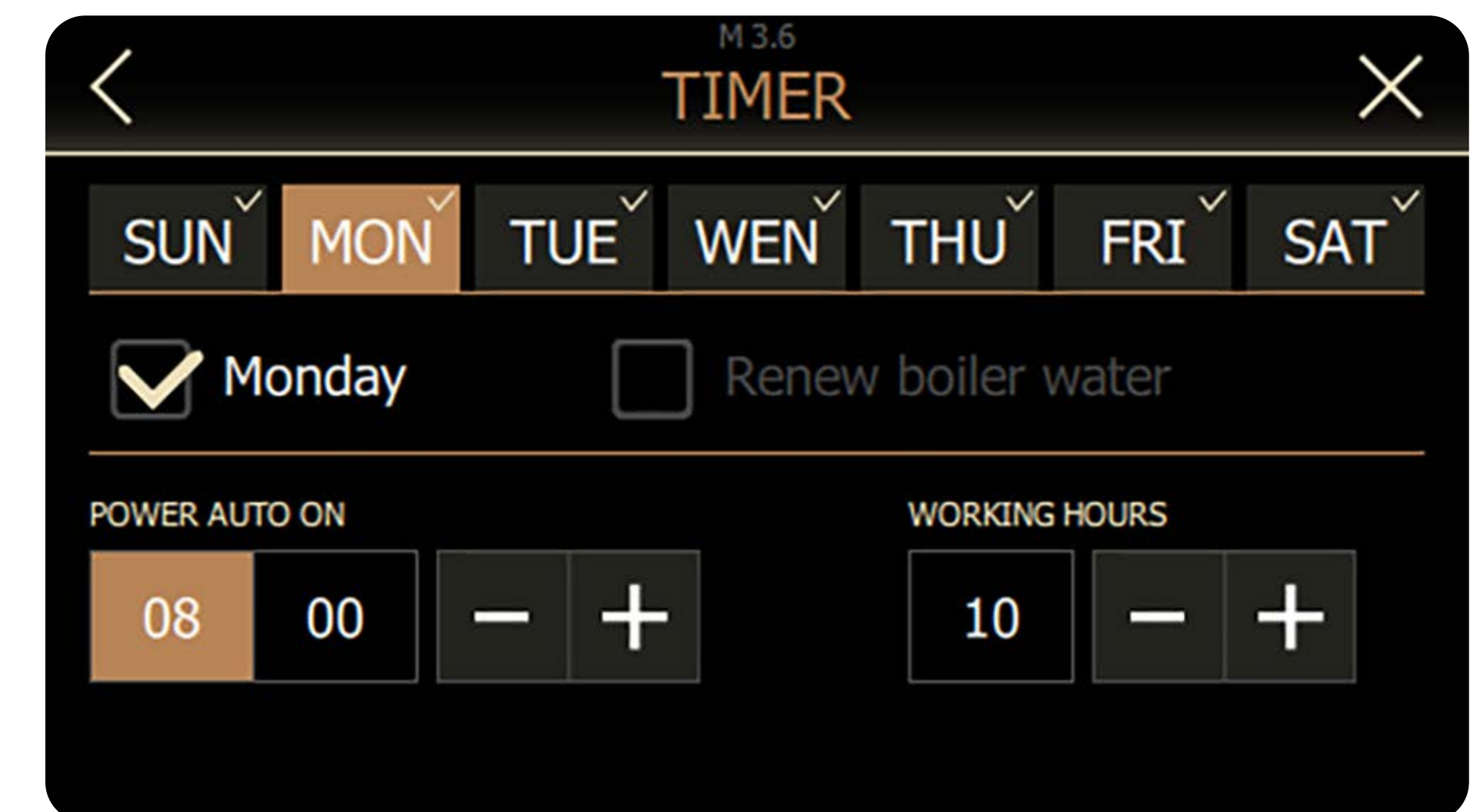
Rancilio-Timer-On-Off



Rancilio-Timer-On-Off-Menu



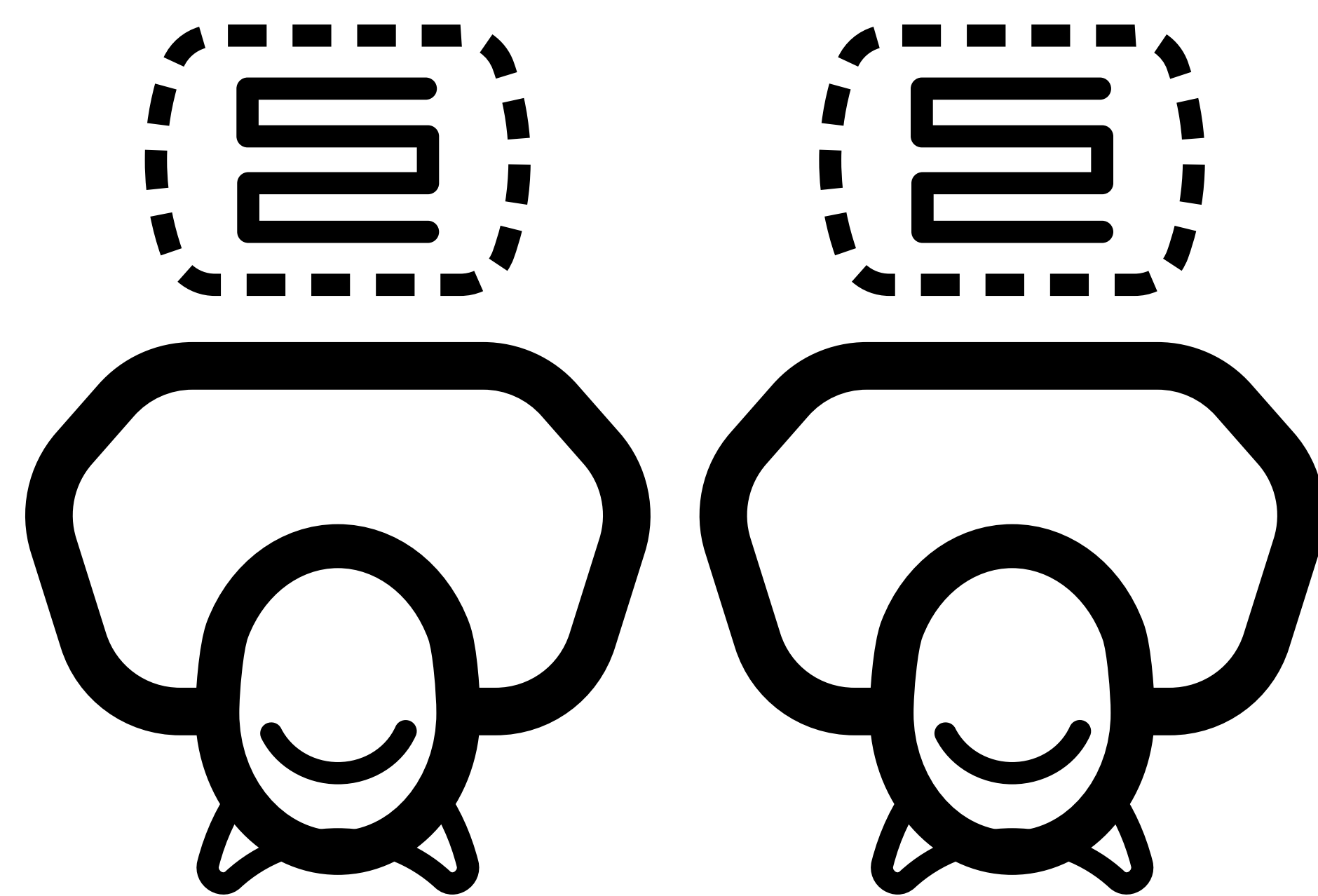
Spacialty-Timer-On-Off



Spacialty-Timer-On-Off-Menu

# .5

## 非稼働グループをオフにする



カップウォーマーのスイッチを切るなど、最も一般的なベストプラクティスは、バリスタがグリーンテクノロジーを正しく使用することに比べれば、省エネに与える影響ははるかに低いです。とても有効な助言のひとつは、各時間帯に応じて必要なグループヘッドのみを使用し、それ以外のグループヘッドのスイッチを切り、熱湯の無駄遣いを防ぐことです。

ランチリオのClasse 11 Xcelsius、Classe 20 ASB、ランチリオスペシャリティのRS1などのマルチボイラーモデルを際立たせている特徴は、総エネルギー消費量にあります。これらのマルチボイラーコーヒーマシンは、グループ数が同じ場合、シングルボイラーコーヒーマシンと同じエネルギー消費量でありながら、より充実した省エネテクノロジーを搭載しており、常に高品質な一杯を提供できます。

本テクノロジー搭載モデル：

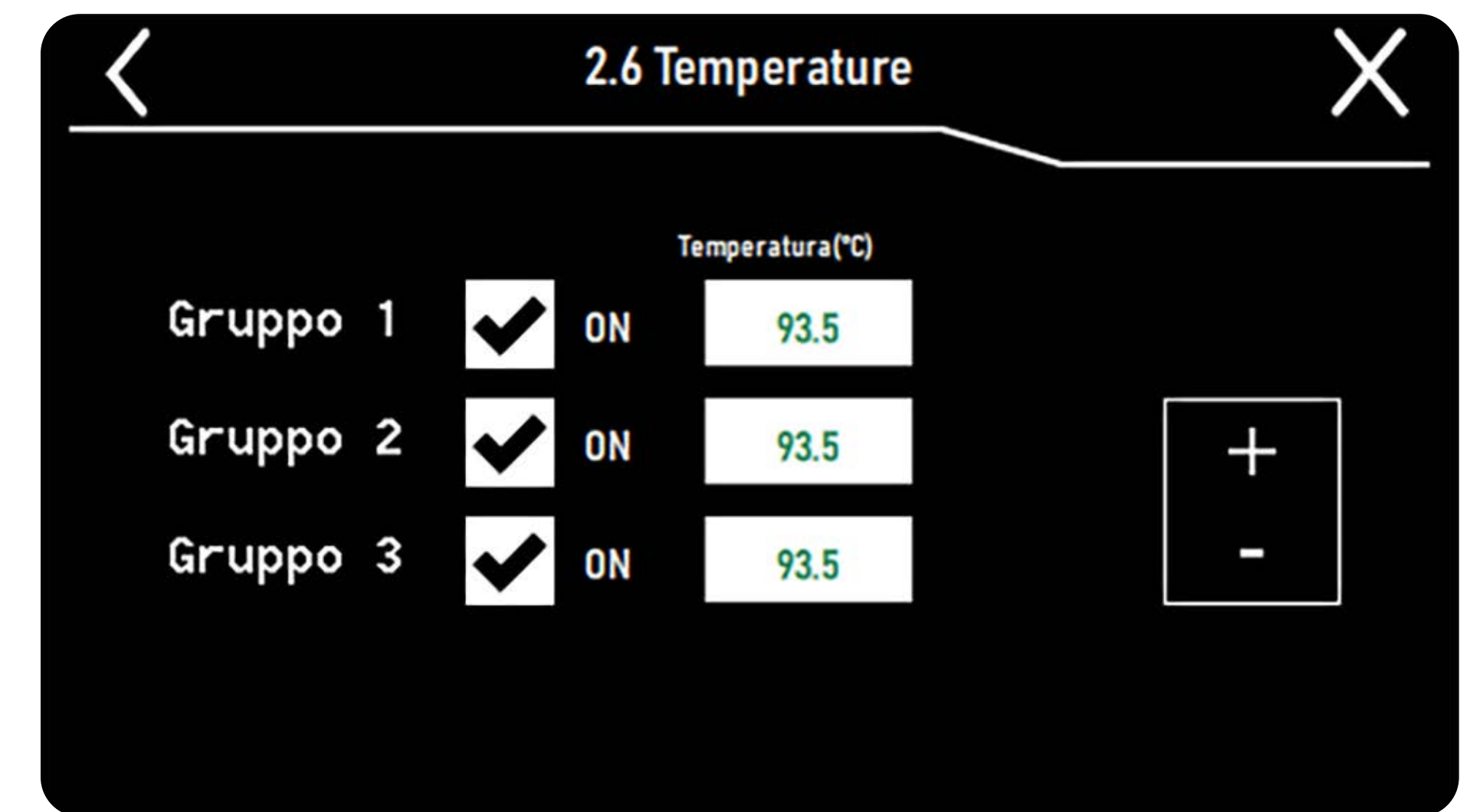
Classe 11 USB Xcel、Classe 20 ASB、RS1

# .5

## 非稼働グループをオフにする

本テクノロジー搭載モデル:

Classe 11 USB Xcel、Classe 20 ASB、RS1



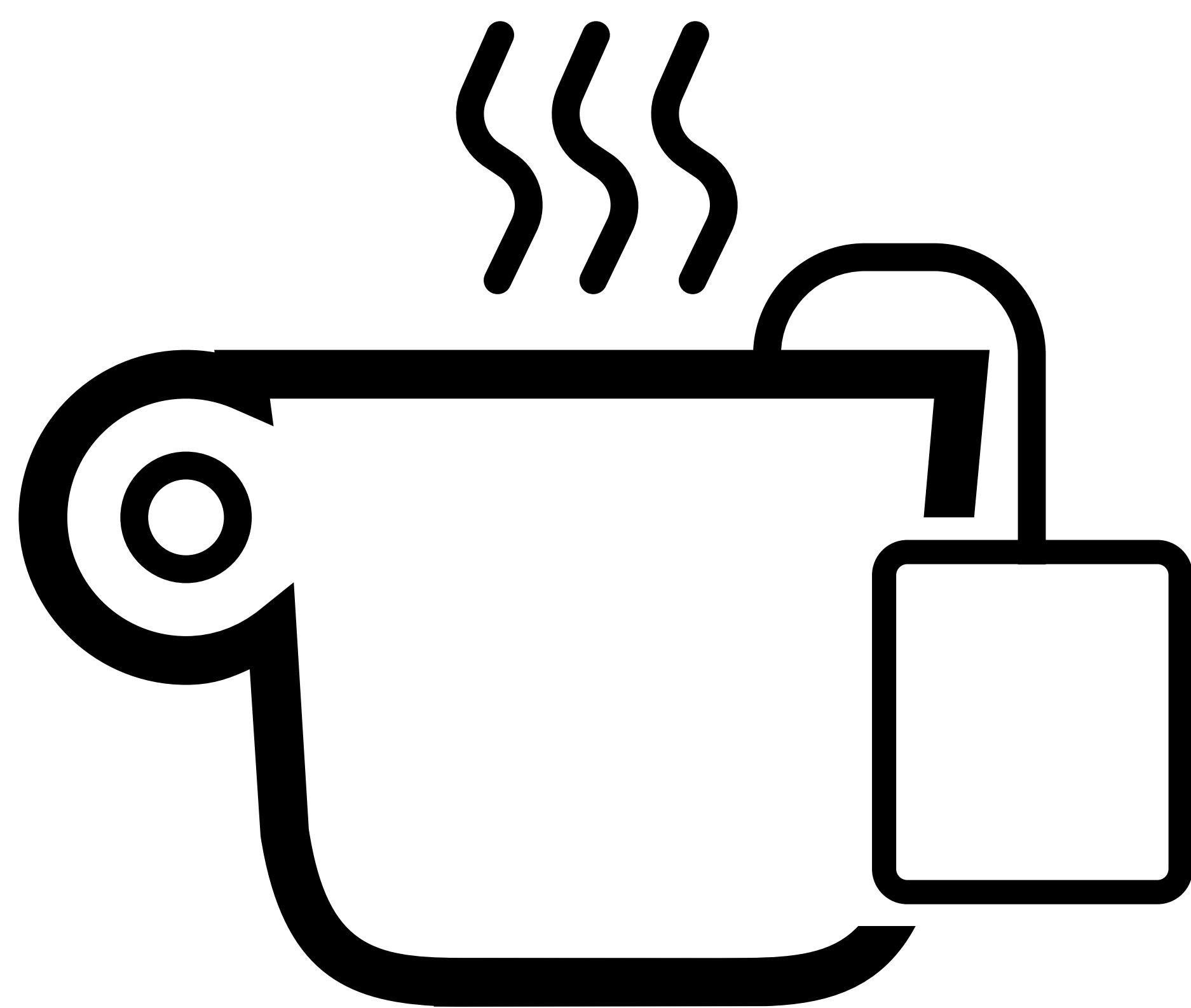
Rancilio-Group-Off



RS1-Switch-Group

# 6

## 熱湯の使用を最適化する



ウォーターエコノマイザーは、低・中級機種であっても、冷水と熱湯を混合して適正な水温を設定することで、多くのエネルギーを消費するボイラーから熱湯だけが取り出されるのを防ぐことができます。

Classe 5を除くランチリオの各機種には、電気と水の消費量を抑えるエコノマイザーを搭載することができます。Classe 11、Classe 20、Classe 9 USB、RS1、Invictaには、バリスタがユーザーインターフェースから直接水量や温度レベルをプログラムできるX-Teaテクノロジーを搭載することができます。

エコノマイザーが搭載されていないコーヒーマーカーを選んだバリスタには、スチームワンドを使って紅茶用の熱湯を沸かすことをお勧めします。こうすることで、ボイラーの熱湯を使わずにすみ、湯のレベルや温度を回復させるためのエネルギーを節約することができます。

エコノマイザー搭載モデル：  
Classe 7 USB、Classe 7 S

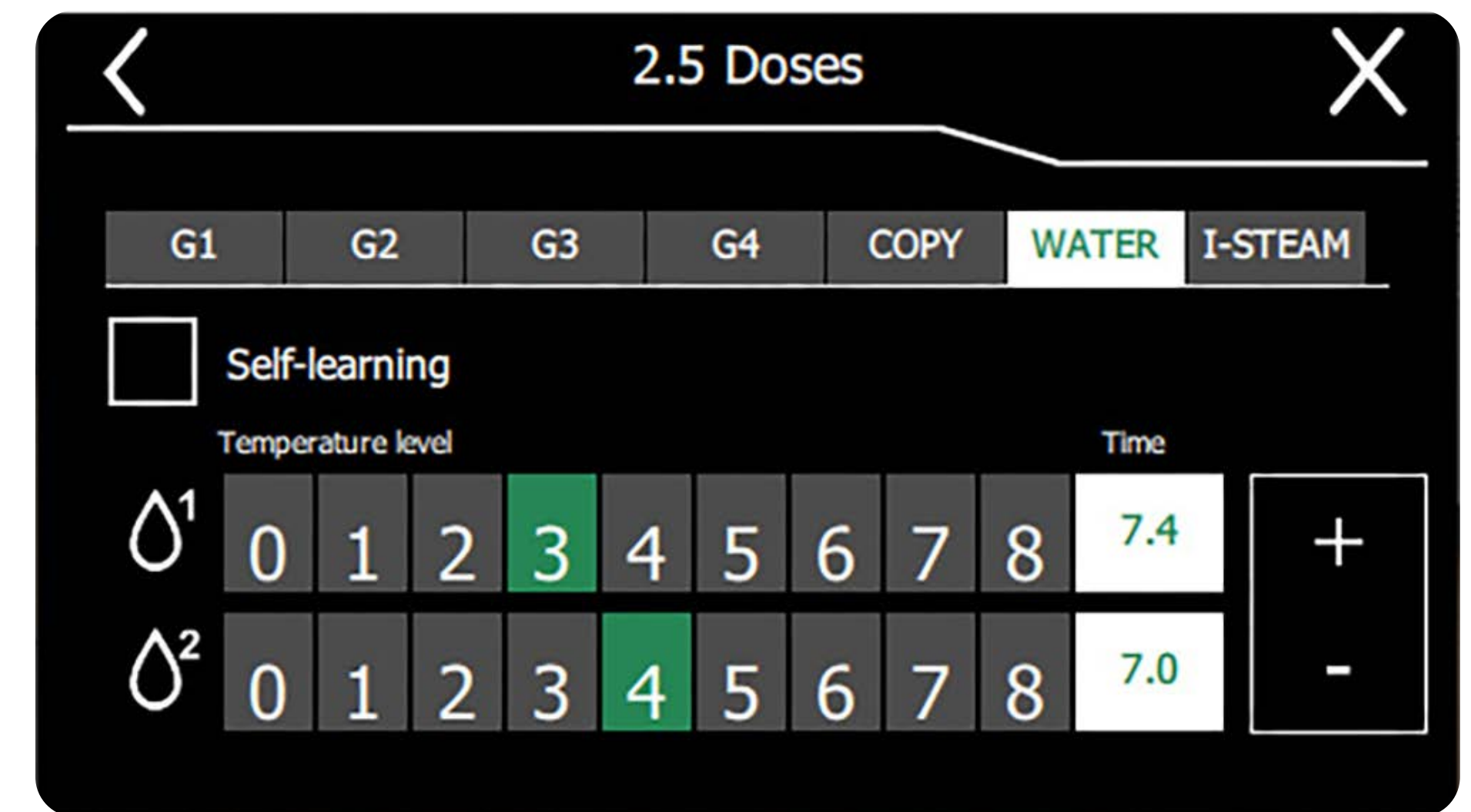
X-Tea搭載モデル：  
Classe 11 USB Xcelsius、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、  
Classe 9 USB、RS1、Invicta

# 6

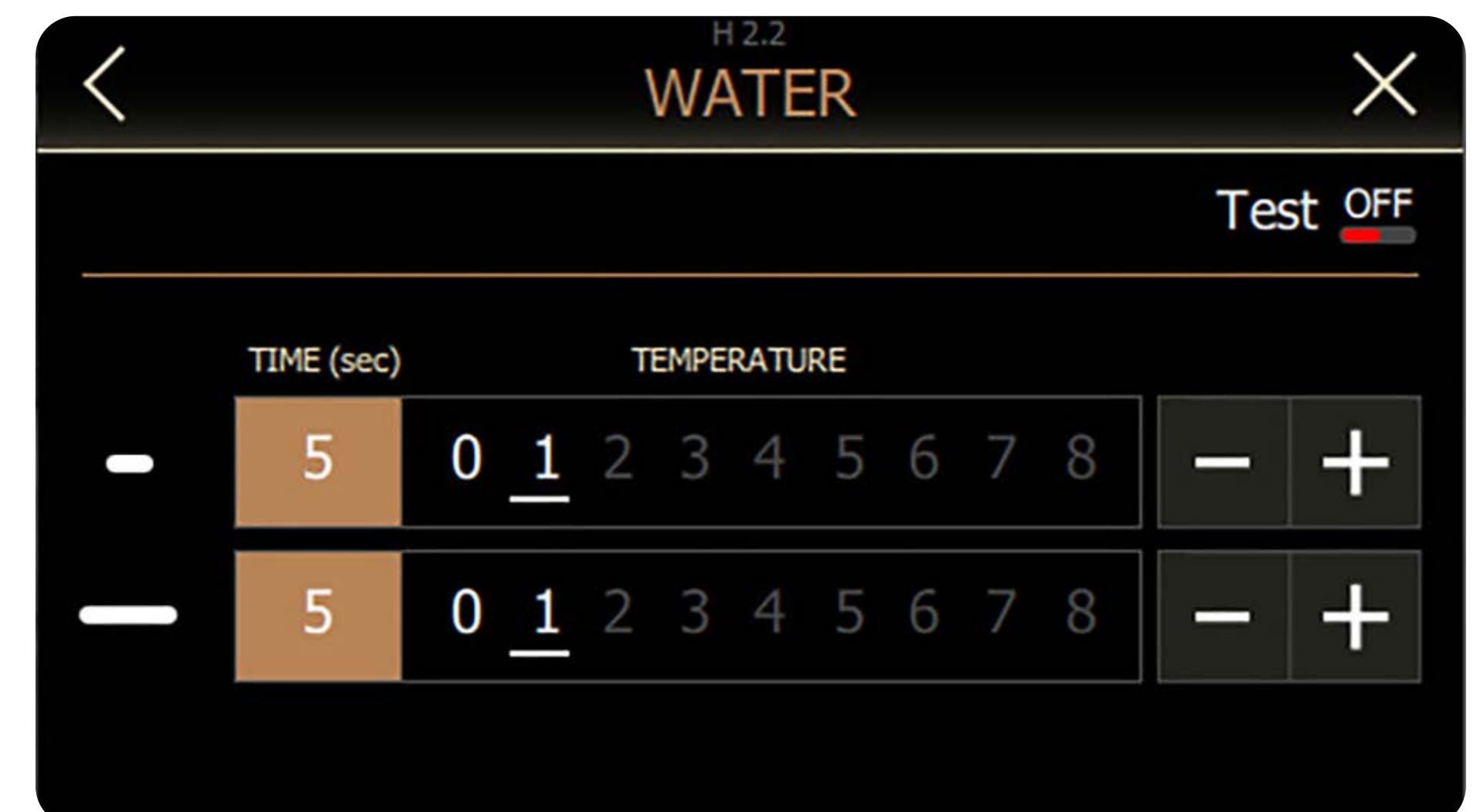
## 熱湯の使用を最適化する

エコマイザー搭載モデル：  
Classe 7 USB、Classe 7 S

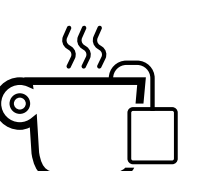
X-Tea搭載モデル：  
Classe 11 USB Xcelsius、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、  
Classe 9 USB、RS1、Invicta



C20 - X - Tea



RS1 - X - Tea

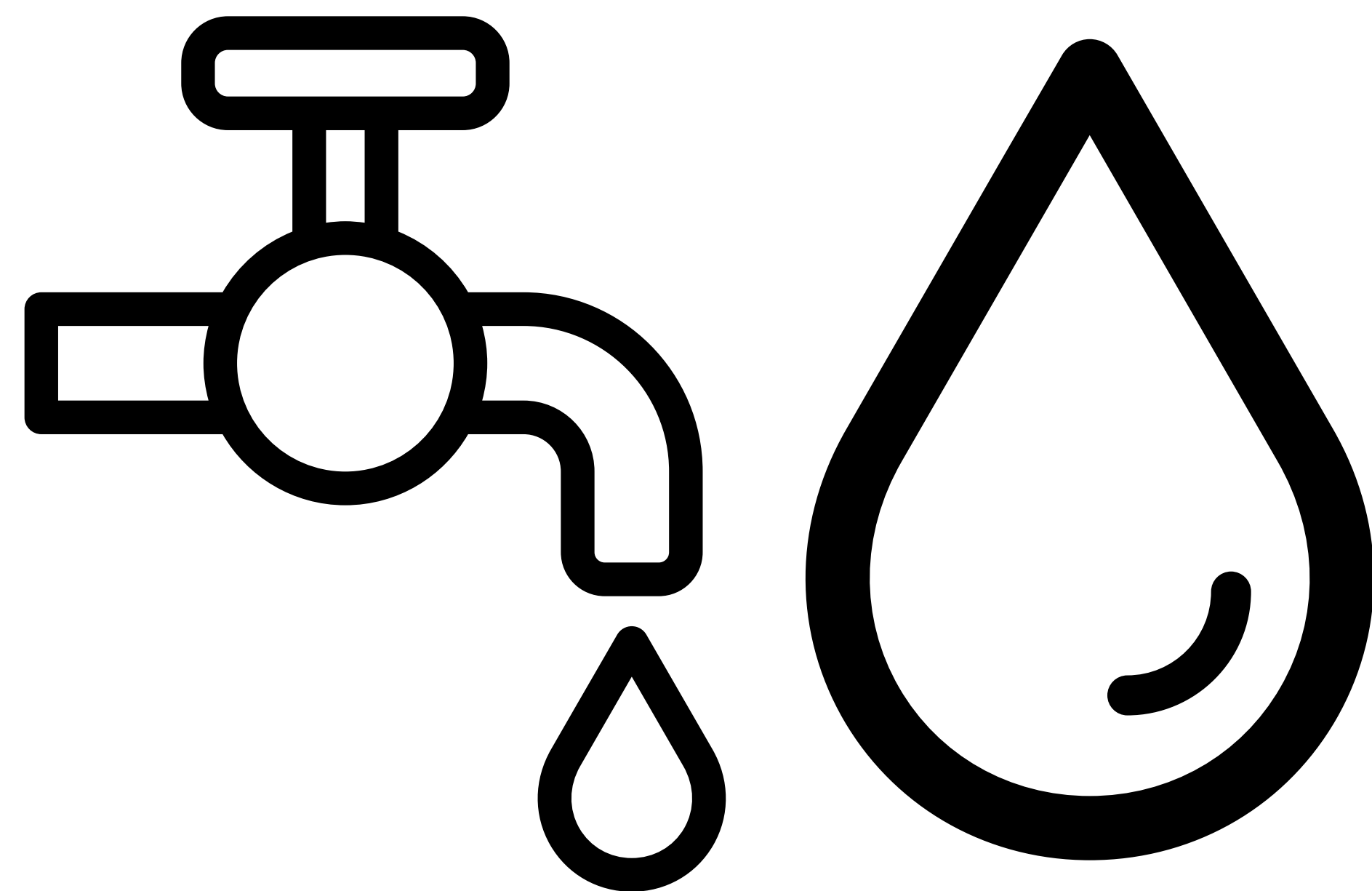


# .7

## 無駄のないフラッシュ

Classe 20をはじめとするランチリオの最上位機種では、フラッシュの量と持続時間を設定することができます。この持続時間を2～3秒に設定すれば、熱湯の無駄遣い、つまり電気の無駄遣いを防ぐことができます。

カップ洗浄機の使用にも注意し、洗浄機のバスケットがいっぱいになってから洗うようにし、次回洗浄時に再加熱する必要がないよう、適切な水温を保つために必ずドアを閉めておきましょう。

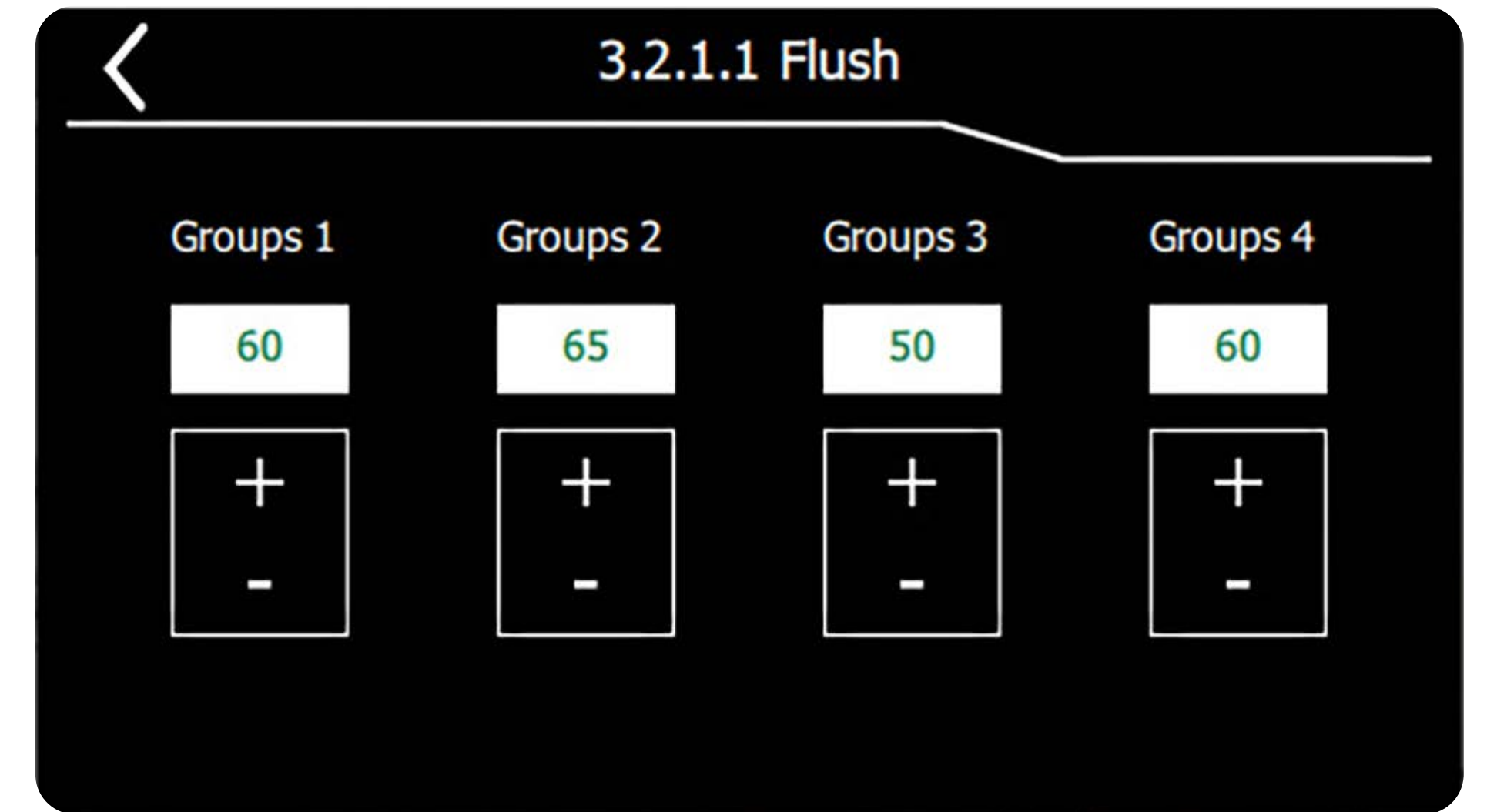


本テクノロジー搭載モデル：

Invicta, RS1、Classe 20

# 7

## 無駄のないフラッシュ



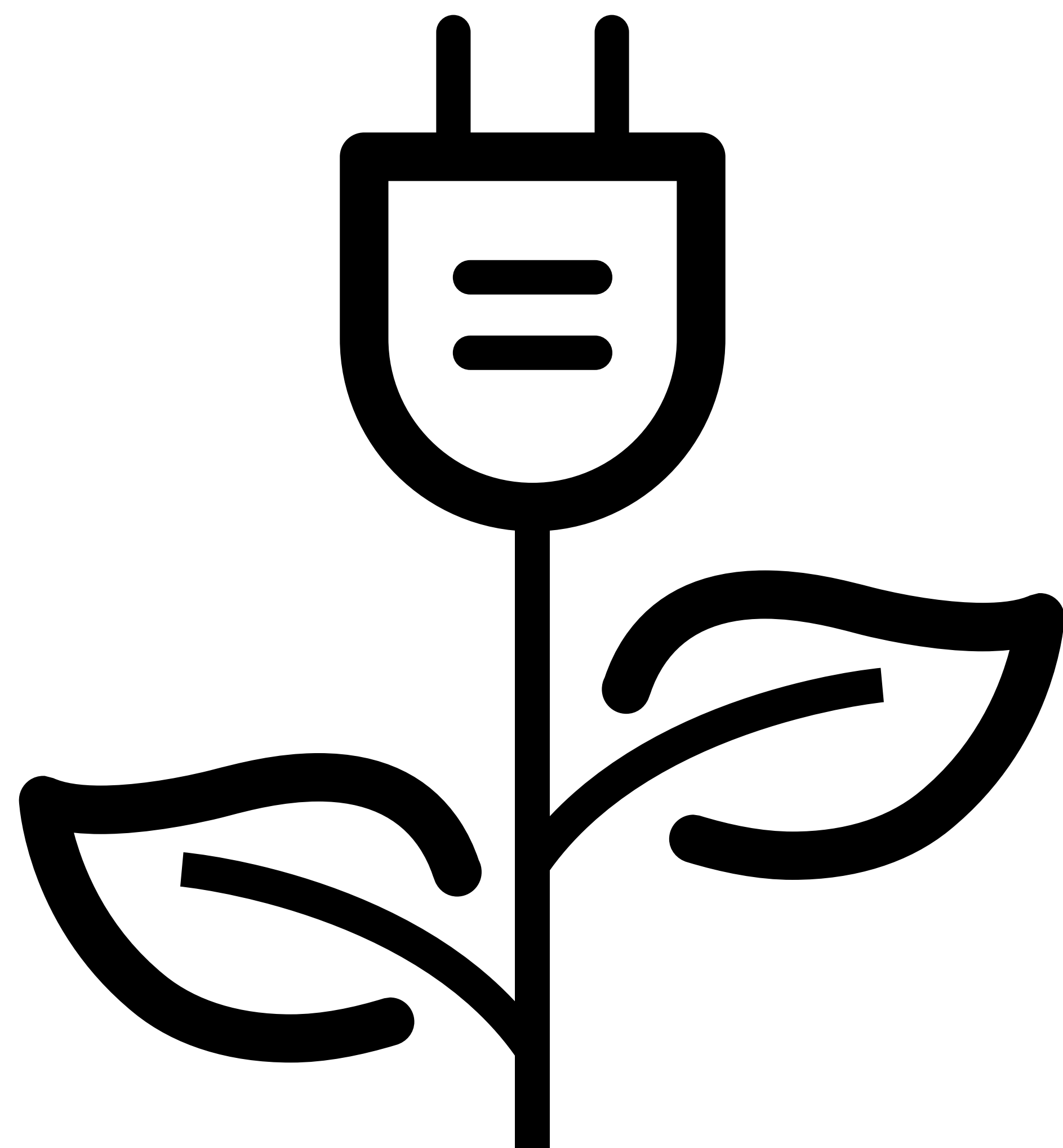
Rancilio Flush

本テクノロジー搭載モデル:

Invicta, RS1、Classe 20

# 8

## ECO MODEを起動する



ランチリオのClasse 11やランチリオスペシャリティのRS1などの、Eco Modeを搭載したコーヒーマシンは、ボイラー内の水と蒸気の比率を最適化し、理想的かつ動的な水管理を行うことで、最大のエネルギー削減を実現します。

実際、低稼働時間帯には、ボイラー内の水量を制限し、蒸気使用量を増やします。ボイラー内の水量が少なければ、必要温度にするために消費されるエネルギーも少なくて済みます。同時に、蒸気量が増え、ボイラー内の水分が減ることで、スチームワンドの性能も向上します。

エコモード搭載モデル：

Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、RS1

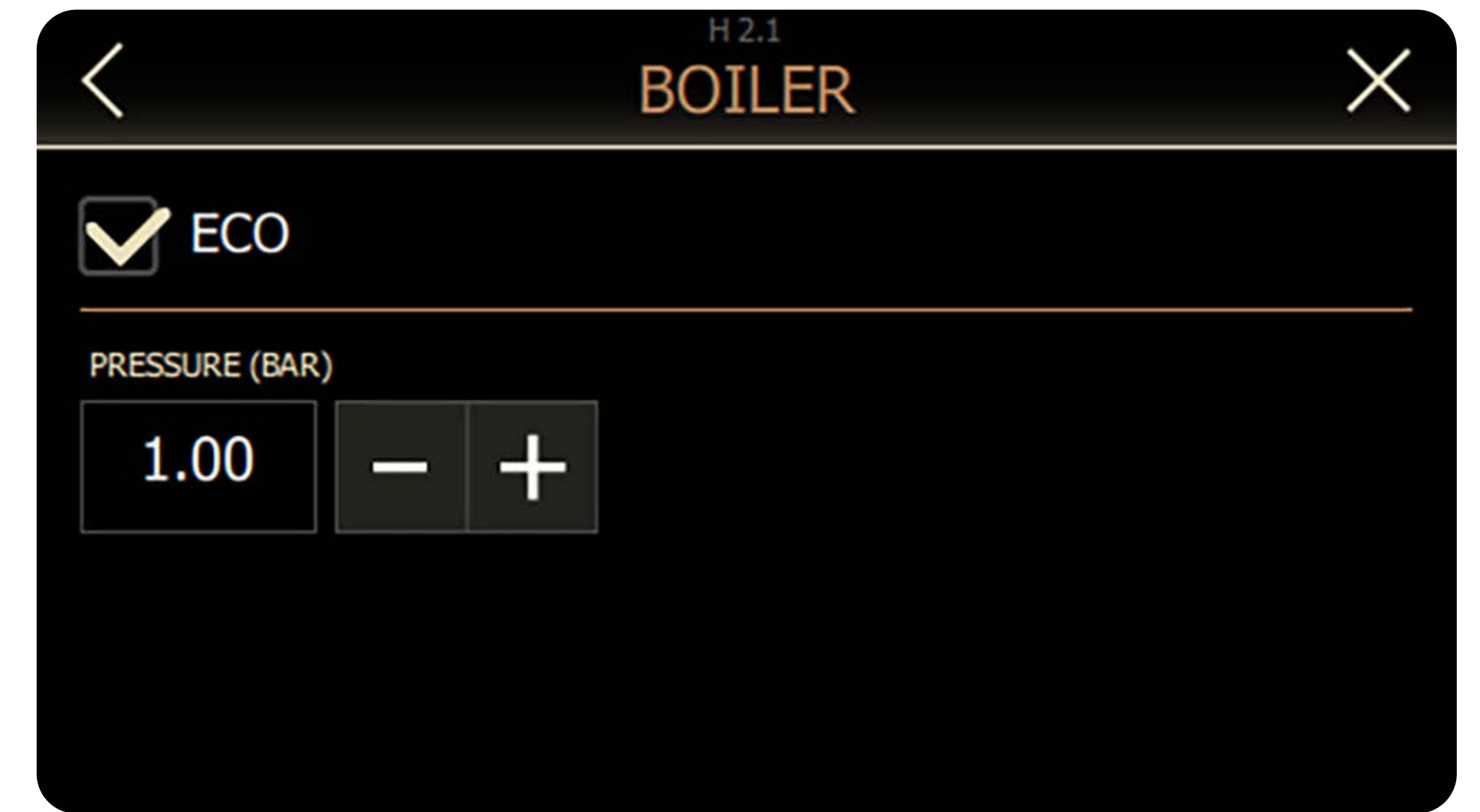


# 8

## ECO MODEを起動する

エコモード搭載モデル:

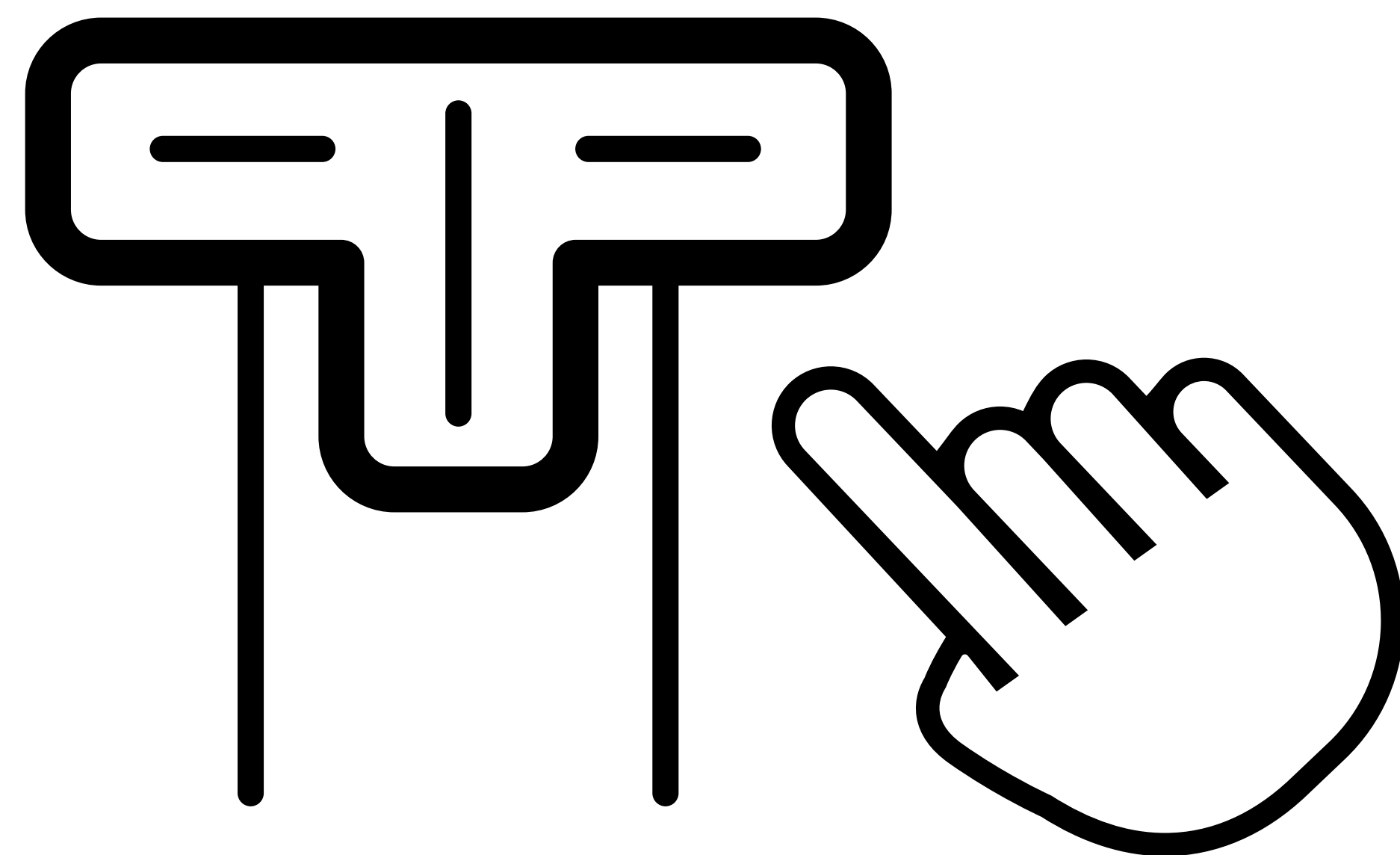
Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、RS1



RS1 - Eco - Mode

# 9

## 自動ワンドを使う



最適なミルク品質を達成するのは簡単ではありません。そのため、消費量を最適化し、フォームドミルクの質感と温度を均一にする自動スチームワンドが開発されました。

ランチリオ・グループが特許を持つiSteam自動スチームワンドには、2つのボタンが付いており、ミルクを温めて泡立てる「カプチーノ」と、温めのみを行う「ラテ」機能をプログラムすることができます。Classe 11、Classe 20、Classe 7に搭載可能です。iSteamは、Egro OneとNext全自動コーヒーマシンにも搭載することができます。

また無駄を避けるためには、必要なミルクの量に合ったミルクジャグを使用すること、ミルクを温めすぎないこと、使用後は必ずスチームワンドを素早く洗浄することが大切です。

本テクノロジー搭載モデル：

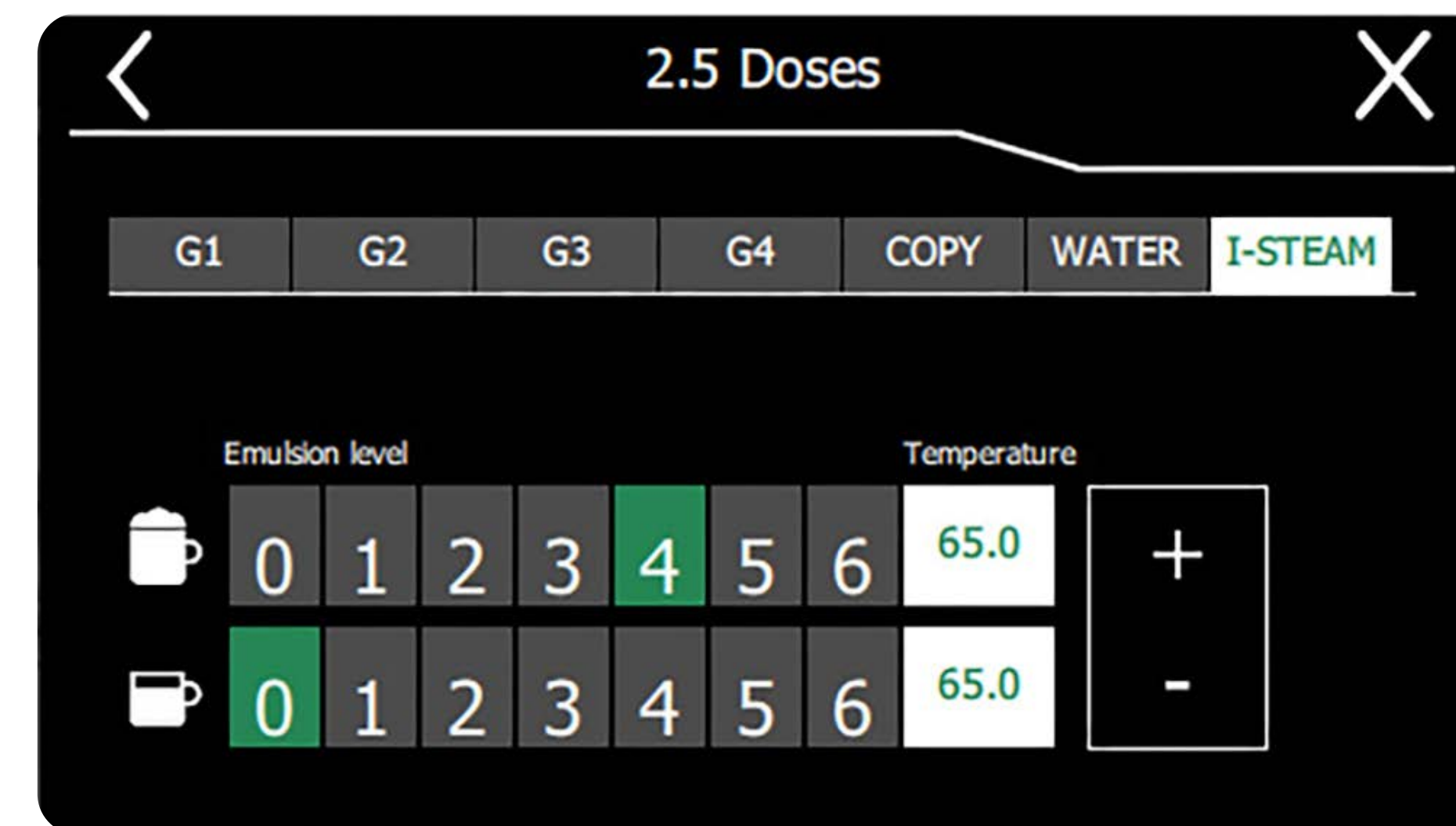
Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、Classe 9 USB、Classe 7 USB、Classe 7 S、Classe 5 USB、Classe 5 S、Classe 5 Eco USB、Classe 5 Eco S、Next、Next X2、One、Two

# .9

## 自動ワンドを使う

本テクノロジー搭載モデル:

Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、Classe 9 USB、Classe 7 USB、Classe 7 S、Classe 5 USB、Classe 5 S、Classe 5 Eco USB、Classe 5 Eco S、Next、Next X2、One、Two



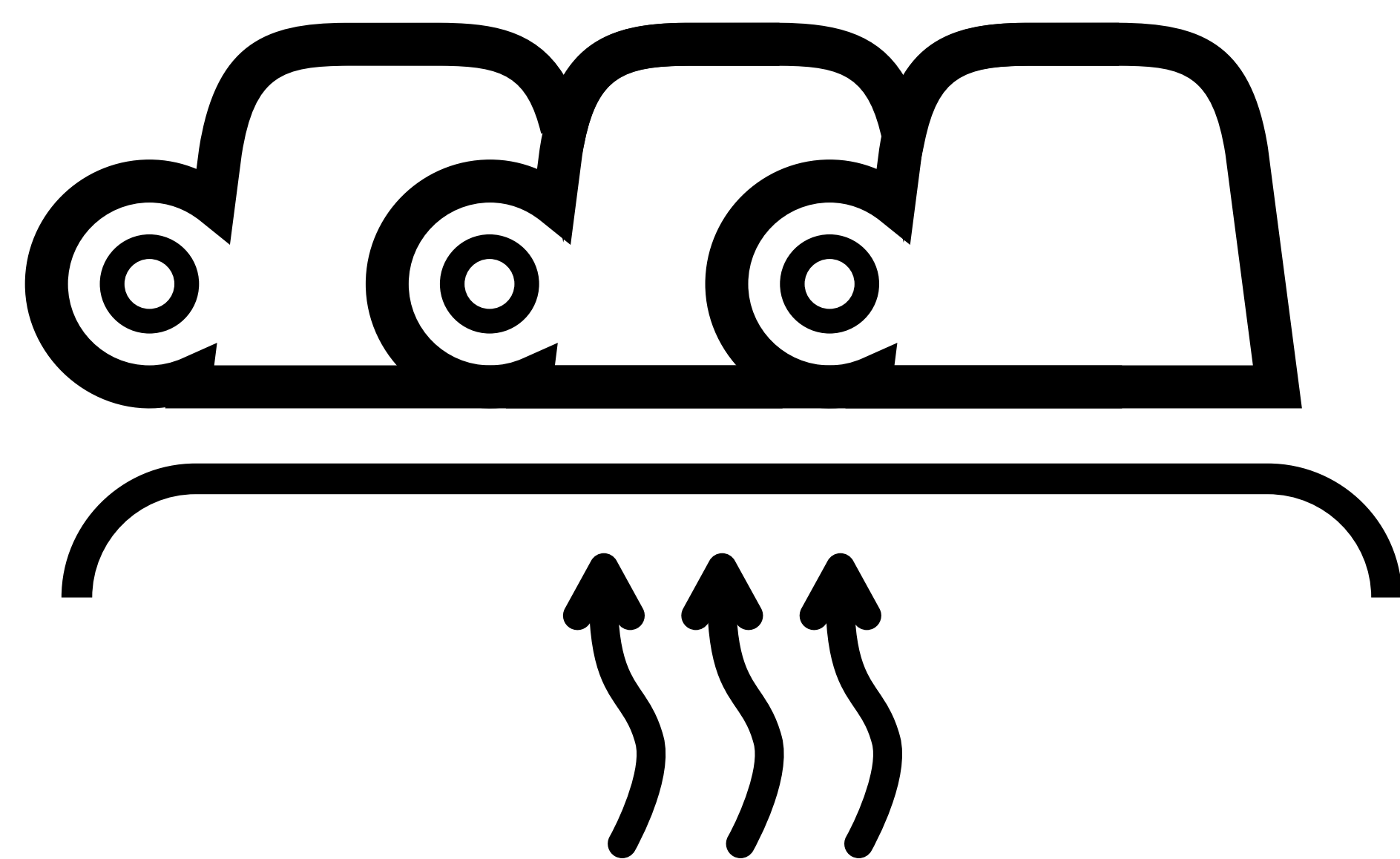
Rancilio ISteam

# .10

## 調節可能カップウォーマーを採用する

他の細かい省エネ対策と合わせて、カップウォーマーを使用しないときはその電源を切っておくことも有効です。温度調節が可能なカップウォーマーは、ヒーターを常に最大出力で作動させることなく、必要のない時にはエネルギー消費を抑えます。

Classe 11 USB Xcelsius、Classe 11 USB、RS1、Invictaモデルのカップウォーマーは、ユーザーインターフェースから、スイッチの入る時間を設定したり、温度を調節したりすることができ、省エネに対する意識の高いバリスタに最適な選択肢を提供します。



調節可能カップウォーマー搭載モデル：

Classe 11 USB Xcelsius、Classe 11 USB、RS1 and Invicta

# .10

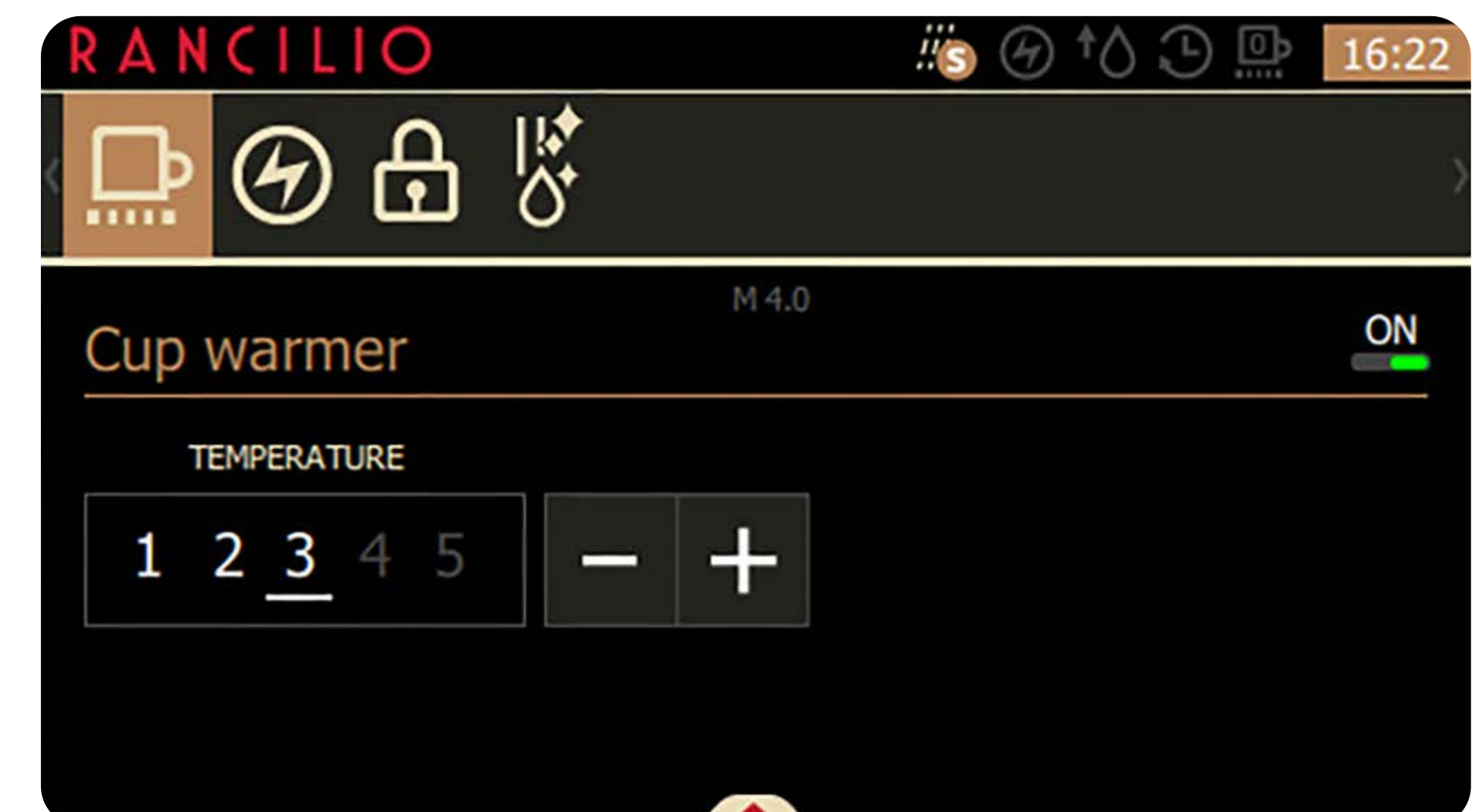
## 調節可能カップウォーマーを採用する

調節可能カップウォーマー搭載モデル:

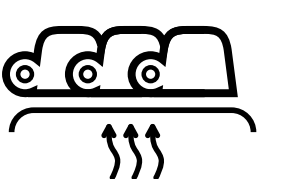
Classe 11 USB Xcelsius、Classe 11 USB、RS1 and Invicta



Rancilio-Cup-Warmer



Specialty-Cup-Warmer



# .11

## IOTマシンを選ぶ



Classe 11やClasse 20などのトラディショナルなコーヒーマシンや、Next、One、Zero+などの全自動コーヒーマシンには、Connectシステムを搭載することができます。

Connectは、ランチリオ・グループが開発したパワフルなIoTソリューションです。本システムを使用して、事前にエリア内の活動スケジュールを計画することで、オンサイト介入を大幅に減らし、サービスルートを最適化し、リモートソリューションを増やせるため、結果としてコスト削減を実現することができます。さらに、単体マシンから複数台のコーヒーマシンまで、予知保全マネジメントプログラムによって管理することで、マシンのライフサイクルを延ばすことに大きく貢献します。

本テクノロジー搭載モデル：

RS1、Invicta、Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、Classe 9 USB、Classe 7 USB、Classe 7 S、Classe 5 USB、Classe 5 Eco USB、Next、Next X2、One、Two、Zero+、Touch Coffee

# ベストプラクティス

### .1) 適切なアシスタントを選ぶ

省エネは事実上、コーヒーマシンの選択によって左右されることに配慮する必要があります。ビジネスニーズに基づいたサイズ、技術仕様、アクセサリを特定することは、店舗全体の支出に大きく影響するのです。よくある間違いは、その店舗の実際の消費量よりも大きいマシンを購入することです。

ランチリオのコーヒーマシンなら、バリスタがパフォーマンスを犠牲にすることなく、日々のニーズと消費量に基づいて、エネルギー消費を最小限に抑えることをサポートする、幅広い製品やソリューションを選ぶことができます。

### .4) マシンの手入れをする

マシンの適切かつ定期的なメンテナンスは、省エネの観点において軽視することはできません。マシンやアクセサリの定期的なクリーニングとメンテナンスは、パフォーマンスを大幅に向上させ、エネルギーの最適化、故障の防止、製品寿命の延長につながります。したがって、メーカーの指示に従い、定期的な点検を行い、マシンの早期廃棄を避けるために迅速に対処することが重要です。

### .2) 水の品質を守る

コーヒーマシンに使用する水の品質もとても重要です。プロ仕様のろ過システムを使用することは、経済的にも環境的にも効率的なマシンパフォーマンスを確保するための決定的な要素となります。長期的には、水の硬度に特別な注意を払うことで、望ましくない故障や不具合を防ぎ、製品寿命を延ばすことができます。またこのろ過システムを採用することで、ペットボトルの水の代わりにろ過水を店舗で提供することができるので、節約だけでなく環境保護にもつながります。

### .5) コーヒーを資源として考える

ランチリオのKryo Evo 65のようなプロ仕様のオンデマンドコーヒーグラインダーを使用することは、無駄を省き、消費量を削減する優れた方法です。また、コーヒーの粉は、優れた天然の肥料であることも忘れないでください。窒素、リン、カリウム、マグネシウムなど、植物の成長に不可欠な栄養素が含まれています。コーヒーかす専用の容器を使用することで、廃棄物管理における循環経済アプローチを実現することができます。実際、ランチリオ・グループでは、マシンテストで回収された1000kg以上のコーヒーかすを、会社の庭で天然肥料として使用しています。

### .3) LEDライトで省エネする

LEDライトは、作業エリアを完璧に照らすだけでなく、従来の白熱灯に比べ、大幅な省エネを実現します。一般的に寿命が長く、メンテナンスもほとんど必要ありません。LEDランプはまた、衝撃に強く、故障しにくいという特徴もあります。LEDランプの特徴は、高い出力と非常に低い電力消費という完璧な組み合わせであり、エネルギー効率の観点から自然な選択と言えます。

グループヘッド下の白色LEDライトは、ランチリオおよびランチリオスペシャリティのすべてのトラディショナルなコーヒーマシンで利用でき、機能性と経済性を保証します。

本テクノロジー搭載モデル：

RS1、Invicta、Classe 11 USB Xcel、Classe 11 USB、Classe 20 ASB、Classe 20 SB、Classe 9 USB、Classe 9 S、Classe 9 RE、Classe 7 USB、Classe 7 S、Classe 5 USB、Classe 5 S、Classe 5 Eco USB、Classe Eco 5 S



 **RANCILIO** GROUP